WORK × VS TX

ワークから新たに登場するホイールは激ヤバ!
あのアメリカでも人気のVSシリーズにニューフェイスが現れたのだ。
トラディショナルなデザインだがどこかアウトローっぽさを匂わせる、そいつの名は"VS TX"。

source：ワーク西日本 06-6746-2859、ワーク中日本 052-777-4512、ワーク東日本 048-688-7555 https://www.work-wheels.co.jp/
sp thx：アピスオートプティック 087-875-1212
photo：Kenji Isebaba

WORK / VS TX
- サイズ：19 × 7.5 ～ 15J、20 × 7.5 ～ 13J
- リム形状：3 ピース（19 インチ：リバースリム、20 インチ：ステップリム）
- ホール数 & P.C.D.：5H-114.3（特殊 P.C.D. 要相談）
- 標準カラー：マットシルバー、マットカーボン
- 価格：8 万 5500 ～ 11 万 2000 円

アピスオートプティック特注のパウダーコートペイントにより、サテンメタリックネイビーというシブい路線で仕上げたセンターディスク。アウターリムもブラッシュドフィニッシュで、ギラつき不要のこのクラブスポーツにハマっている。

GTIクラブスポーツをワルっぽく!

ゴルフに 20 インチだって !? と頭の中で創造すると有り得ないかもしれないが、いざ見てみると全然違和感がないことがお分かりのはず。ゴルフ V から VII に至るまでに少し大きくなったボディサイズには、意外にもプリウスサイズなのだ。

20 × 9.0J なんて ノーマルボディにゃ到底まともには履きこなせないが、リーガー製ワイドフェンダーの装着で頑張ってる感じを出さないキレイなツラウチに仕上がっている。

ベース車両はドイツ本国から輸入された 3 ドア & 左ハンドルのサンルーフ付きといらシブな個体。GTI シリーズ最強のエンジンスペックを持つだけあって標準シートがセミバケとなる。

VW GOLF
- 2016 年式 VW・ゴルフ VII GTI クラブスポーツ
- エクステリア：リーガーチューニング（フロントスポイラー、ワイドフェンダー、サイドスカート、サイドスカートエクステンション、リアスカートエクステンション）、マクストンデザイン・リアキャップスプリッター
- ホイール：ワーク・VS TX（F & R = 20 × 9J）
- タイヤ：ヴェンタス・V12evo（F & R = 225/30-20）
- 足回り：JRZ RS2 コイルオーバー
- ブレーキ：F = ストップテック・ドロイーキット（355 × 42、4 ポット、Pos. クヴイエット セラミックブレーキパッド）、R = ISWEEP IS1500 パッド、ホットロッド & ペンタ
- チューニング：afe パワー モメンタム GT エアインテーク、APR・ステージ 1 ECU アップグレード、AWE チューニング・トラックエディション エキゾーストシステム、cpm ロワレンフォースメント、フロントメンバーブレース、リアメンバーブレース、ロワレイングフォースメントエクステンション
- インテリア：ブラックフォレストインダストリー・シフトノブ

いまや日本のホイールブランドのトップ御三家として不動の座を築き上げたワーク。次々と新シリーズ、新モデルをリリースする一方、創業以来のブランドフィロソフィをしっかりと感じ取ることが出来るのが、マイスター、「エクイップ」、そして「VS」シリーズと言えるだろう。そんなVSシリーズには海外市場向け」という特殊な立ち位置が与えられ、これまでも数々のモデルが海を渡って行った。

現在もリリースされているのJDMフリークの間で大プレイクを果たした立役者的モデルであり、そのXXのDNAを色濃く継承しながらも、現代のトレンドやモディファイ事情をしっかりとフィードバックした新作がこのVS TX」だ。USマーケット向けに昨年のセマショーで先行デビューを果たしたこの作品が、いよいよ日本市場でもデリバリーを開始する。

細身の7本スリットスポークのディスクは、ビッグブレーキ装着車にも対応すべく一段立ち上がって展開するコンベックススタイルで、ブレーキクリアランスとリム幅のどちらも確保出来るという一挙両得なスペック。センターハブに向けて緩やかなラウンド形状になっているので思いのほか表情も豊かだ。

また、オプションで特注カラーやフィニッシュが選択可能であることもポイントが高い。パッケトウザベーシックというキーワードを高いレベルで見現しているモデルと言えるだろう。

新VS日本上陸